

普及活動情勢報告（平成29年 5 月分）

高吾農業改良普及所

地域の特産品「山椒」（青果用）の収穫が始まる



収穫直前の山椒果実の状態

当普及所管内には県内有数の山椒産地があり、青果用のほか、乾燥した果皮を利用する薬用向けや加工向けの栽培が行われています。5月に入り青果用の山椒の収穫が始まりました（27戸）。今年は4月の気温が低く、例年よりも1週間程度収穫開始が遅れました。それでも11月の元肥や12月から2月にかけての冬期防除、せん定作業等のかいあって収穫につなげることができました。7月には薬用向けや加工向けの収穫が始まります。

普及所は、施肥や病害虫対策などの栽培管理に関する情報提供やせん定講習会を開催し、山椒の生産安定のために支援していきます。

「シュガートマト」の出荷が最盛期！



出荷ラインに並んだコンテナ

J Aコスモスの「シュガートマト」の収穫・出荷が最盛期となっています。「シュガートマト」はJ Aコスモス日高支所ハウス園芸部のトマト生産者17名が栽培しており、11月から6月末まで栽培されます。今年は4月下旬ごろから例年になく多い出荷が続いています。5月に入ってもトマト選果場には日量3tを超えて出荷されています。

普及所は、現地での分析調査や診断や講習会での指導を行い、収量アップに向けた栽培管理を支援していきます。

佐川町で露地シシトウの定植が始まる



シシトウ苗を持ち帰る農家

佐川町で露地シシトウの定植が始まりました。5月11日にJ Aコスモス斗賀野支所で定植勉強会が開催され、シシトウ農家10戸が参加しました。普及所は苗の根張りを農家と確認し、定植後の管理と土着天敵の利用技術について説明しました。農家からは定植時の農薬やバンカー植物の定植時期について質問がありました。勉強会終了後、J Aが苗を配布し、農家はそれぞれの苗を大事に持ち帰りました。

普及所は収穫開始までの栽培初期を重点的に現地巡回し、安定生産に向けて支援していきます。

越知町で農薬勉強会を行いました。



農薬の暦を熱心に見る農家

5月11日、越知町の今成園芸組合が農薬勉強会を開催し、組合員が栽培時に使用する品目別農薬暦の見直しを行いました。同組合は過去にはISO14001にも取り組んでおり、環境に配慮した農業を実践する団体です。組合員たちは公民館に集まり、今年使う農薬の一覧を確認しました。普及所は掲載している農薬の安全使用について説明しました。組合員からは農薬に関する活発な質問や意見が出ました。

普及所は農薬暦の作成を支援し、農薬の安全使用や生産履歴の徹底を指導していきます。